

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●牧光二調教師がJRA通算300勝を達成

7月9日(土)の2回福島3日・第1レースではハンデンリリーが1着となり、同馬を管理する牧光二調教師(美浦)は、現役69人目となるJRA通算300勝(延べ4225頭目)を達成しました。

### ●堀内岳志調教師がJRA初勝利をあげる

7月10日(日)の1回函館10日・第10レースとして行われた横津岳特別ではアスティが1着となり、同馬を管理する堀内岳志調教師(美浦)は、JRA初勝利をあげました。本年3月5日(土)の初出走から数えて延べ83頭目での初勝利となります。

### ●C.ルメール騎手と横山武史騎手がシャーガーカップに出場

8月6日(土)、英アスコット競馬場にて開催される「ドバイデュティフリー シャーガーカップ」に、クリストフルメール騎手(栗東・フリー/11年ぶり2回目)および横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎/初)が出場することとなりました。シャーガーカップはイギリス・アイルランド選抜、世界選抜、女性騎手選抜、ヨーロッパ選抜(各4名)の4チームによる対抗戦で、両騎手は世界選抜チームの一員として出場します。

### ●セレクトセール2022開催

7月11日(月)と12日(火)の2日間、北海道苫小牧市のノーザンホースパークにおいて「セレクトセール2022」(主催・一般社団法人日本競走馬協会)が開催されました。初日の1歳馬セッションは上場233頭(牡140頭・牝93頭)、落札222頭(牡134頭・牝88頭/落札率95.3%)、落札総額は128億7000万円。最高額はモシーンの2021[牡/父はモリス、母は豪G1・VRCオクスなどの勝ち馬、姉は東京新聞杯(GⅢ)などを勝ったプリモシーン]で4億5000万円でした。2日目の当歳馬セッションは上場236頭(牡152頭・牝84頭)、落札225頭(牡143頭・牝82頭/落札率95.3%)、落札総額は128億9250万円。最高額はチャンパンエニワンの2022(牡/父はドゥラメンテ、母は米G2勝ち馬)で3億2000万円でした(金額はすべて税別)。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ノットウルノがジャパンダートダービー(大井)で重賞初制覇

ジャパンダートダービー(JpnⅠ、3歳、7月13日、大井、2000<sup>米</sup>)は、5~6番手から差を詰めた4番人気のノットウルノ(武豊騎手、牡、父ハーツクライ)が直線に入って間もなく先頭に立つと、3番人気のペイシャエスを3/4馬身差で退けました。1番人気に推されたブリッツファンクはさらに半馬身遅れの3着、2番人気のハビは4着、セキフウは10着、アイスジャイアントは12着、初ダートのコマンドラインは最下位の14着に敗れています。

### ●優駿スプリント(大井)はブライロード【各地の主要3歳重賞】

優駿スプリント(6月28日、大井、1200<sup>米</sup>)は、5番手から直線入口で先頭に立った2番人気の全日本2歳優駿3着馬ブライロード(牡、父ラプリーデイ)が2馬身差で完勝、北海道から大井に移籍後最初の勝ち星が初の重賞制覇となりました。ウイナーC(6月26日、盛岡、1400<sup>米</sup>)は、先手を取った4番人気のカクテルライト(牝、父カレンブラックヒル)が後続を3馬身引き離し、2歳時のピギナーズC、若駒賞に続く重賞3勝目をあげています。

### ●ケイアイパブルらが参戦、7月18日のマーキュリーC(盛岡)

マーキュリーC(JpnⅢ、7月18日、盛岡、2000<sup>米</sup>)は、JRA所属馬ではケイアイパブル、58<sup>歳</sup>のメイショウカズサ、テリオスベル、バーデンヴァイラー、メイショウフンジの順に有力視されますが、ノーヴァレンダ(川崎)、エルデュークラージュ(船橋)、ギガキング(船橋)の地方勢にも上位進出の可能性がありそうです。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1ジュライC~日本のキングエルメスは11着

現地7月9日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1ジュライC(3歳上、芝1200<sup>米</sup>)は、R.ホーンビー騎手を背に中国でレースを進めたアルコールフリー(牝4歳、父ノーネイネヴァー、A.ボールディング厩舎)が、逃げたG1プラチナジュビリーSの勝ち馬ネイヴァークラウンを差し切って優勝。日本から坂井瑠星騎手とのコンビで挑んだキングエルメス(牡3歳、栗東・矢作芳人厩舎)は11着に終わりました。アルコールフリーはこれで2歳時のチェバリーパークS(芝1200<sup>米</sup>)、3歳時のコロネーションS(芝1590<sup>米</sup>)とサセックスS(芝1600<sup>米</sup>)に続いて4つ目のG1制覇です。

### ●G1ベルモントダービー~クラシックコースウェイが逃げ切る

米国ニューヨーク州のベルモントパーク競馬場で7月9日に行われたG1ベルモントダービー(3歳、芝2000<sup>米</sup>)はJ.ルパルー騎手が手綱を取ったクラシックコースウェイ(牡3歳、父ジャイアントコースウェイ)が逃げ切りました。同馬は今年2月のG3サムエフデービスSと3月のG2タンパベイダービー(ともにダート1700<sup>米</sup>)を連勝。しかし続くG1フロリダダービーとG1ケンタッキーダービーとともに11着に終わると、B.リンチ厩舎からK.マクピーク厩舎に転厩となって迎えた前走のG3オハイオダービーも3着。ここは初めての芝レースでした。